



平成18年度 入学式

新棟（S棟）新築工事竣工式および完成記念式典

ロボティクス学科 開設記念行事

踊る!ロボット・バトルin大同工業大学

建築学科 福祉環境専攻 開設記念フォーラム

機械工学科 先端機械工学専攻 開設記念セミナー

平成17年度 学位記授与式

卒業研究発表

これがその青春の1ページだーっ!

宇宙ものづくりフォーラム

～学長と宇宙飛行士・向井さんの対談～

トコトン先生大活躍!

鈴木桂補助教授

DITのグッド プラクティス

就職トピックス

新任教員紹介

元気印の卒業生⑪ 若月 学 氏

開かれた大学

TOPICS／巻末トピックス

平成18年度 入学式

学部生747人、大学院・修士課程44人、博士課程3人、委託生2人が大同工業大学へ

4月3日(月)、キャンパスが新入学生のさわやかな笑顔でいっぱいになりました。

新入生のみんな、無限の可能性をDITで試そうぜっ!



理事長 田中 卓



学長 澤岡 昭



新入生宣誓

新入生代表 工学部 建築学科 春山 貴史

桜満開のこのとき、私たちは大同工業大学に入学を許可され、本学の一員となりました。これから本学で過ごす時間が、今後の人生の大切な糧となることを念頭に置き、人との新たな巡り合いから得られることを大切に、勉学と課外活動に励み、実り多き学生生活を送る所存です。

私たちは、諸先輩方が築き上げた本学の伝統を継承し、あふれる若い力を持って自らを一層高め、さらに新しい大同工業大学の伝統を築いていくことをここに誓います。

新入生代表・春山貴史くんDITでの1ヶ月

高校時は文系コースを専攻していたため、工学部の授業は予想通り、難しかったとのこと。しかし、「建築家になる」という夢を目指して本学を選んだ春山くんは、入学前からの計画どおり「学習支援センター(アップルケアセンター)」の門を叩き、「数学」「物理」を学んでいます。当面の目標は1年次で「勉学」の基礎を作り、2年次からはバスケットボール部等、「課外活動」にも積極的にチャレンジしていきたいと目を輝かせていました。



入学式終了後は……

入学式終了後は、毎年恒例の「クラブ勧誘バトル!」各クラブ独自のピラ500枚を必死にばらまく先輩たち。新入生の手には何十枚ものピラが…。

そのピラの枚数だけ先輩たちは君たちに期待しているぞ!

～先輩の気持ち～

「私たちと一緒にクラブ活動を通して、DITを盛り上げよう」



新棟（S棟）新築工事竣工式および 完成記念式典

3月15日（水）、
ロボティクス学科新棟（S棟）が
学生と社会の夢をのせて、OPEN!



施主挨拶 理事長



新棟（S棟）の目玉!

1F「ロボット工房」

2足歩行ロボット・サッカーロボット・サーカス（からくり）ロボット製作
など、学生が積極的にチャレンジ（課外活動）できる場を提供しています。



サッカーロボット



サーカス（からくり）ロボット



2足歩行ロボットの調整中

4F「ロボット実習室」

ノートパソコンを使って2足歩行ロボット（55機）の製作・制御実習を行うなど実践的な授業により、問題解決能力が身に付きます。そして、何よりも「ものづくりの楽しさ」を実感しながら学ぶことができます。



6F「ロボットラボ」

最新鋭の産業用ロボットや生産システムを教材として導入し、最先端の実習教育を行います。



産業用ロボット



工学部ロボティクス学科 開設記念行事

踊る!ロボット・バトル in 大同工業大学。



4月15日(土)、ゴビーホールで2足歩行ロボット競技会!「ロボット・バトルin大同工業大学」が観客200人のみまもる中、盛大に開催されました。

参加チームは第9回ROBO-ONEチャンピオンの光子力研九所やROBO-ONE界の神とも呼ばれている吉村さん、そして勿論、本学ロボット研究同好会の総勢20チーム。

ロボティクス学科
新設を祝うロボット

第1部【予選・デモンストレーション】

決勝トーナメントに出場できる16機を決めるため、制限時間内(1分30秒)で各ロボットが決め技等を披露。中には「祝・ロボティクス学科新設」の旗を振るロボットも登場し、会場を沸かせるシーンも。勿論、そのロボットは予選を通過しました……。



第2部【本戦・トーナメント】

「大逆転あり」「小よく大を制す戦いあり」とドラマティックなバトル展開に会場は大興奮。

結果は、本学ロボット研究同好会・青木くん(MM06)が見事3位に!そして優勝は親子で参加したマルファミリーでした。

本学ロボットは、大技こそ無いが相手の攻撃を必死に踏ん張って耐え、コツコツとパンチを繰り返すバトルスタイルでした。これはまさに本学学生の「まっすぐ、まじめなコツコツ精神」が乗り移ったロボットです。

今回のバトルでロボットが壊れても、最後まで戦うシーンにドラマを感じました。

新設された「ロボティクス学科」にはどんなドラマが待っているのでしょうか。



本学ロボット「インドラ」

工学部建築学科 福祉環境専攻 開設記念フォーラム

「万人のための福祉 ～いま要求される福祉環境デザイナー～」

4月10日（月）、「建築学科福祉環境専攻」を開設したことを記念して、フォーラム「万人のための福祉～いま要求される福祉環境デザイナー～」を開催しました。

大阪大学大学院教授で工学デザイナーの川崎和男さんを招き、およそ300人の学生・福祉関係者らに対して基調講演していただきました。



川崎和男先生



建築学科 福祉環境専攻の新入生たち



中日新聞 (2006.4.11)

工学部機械工学科 先端機械工学専攻 開設記念

「燃料電池研究センター 第1回セミナー」

4月22日（土）、滝春キャンパスで機械工学科・先端機械工学専攻の開設を記念して、「燃料電池研究センター・第1回セミナー」を開催しました。

燃料電池に興味のある高校生・大学生・一般の方、およそ750人が参加。「持続可能なモビリティへの取り組みと燃料電池自動車の開発」「携帯用燃料電池」「家庭用燃料電池」をテーマにした講演会と「燃料電池の製作」「燃料電池自動車の体験会」、そして「燃料電池研究センターの見学会」等、たっぷり「燃料電池の世界」を楽しんでいただきました。



先生といっしょに



燃料電池研究センター見学会



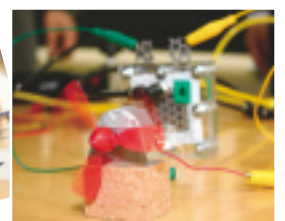
燃料電池自動車体験会



講演会場



お父さんといっしょに



自作の燃料電池でプロペラを回しました



平成17年度 学位記授与式

DITでの経験を武器に社会のステージへチャレンジだ!

3月22日(水)、石井記念体育館で学位記授与式が举行されました。
学部生787人が卒業、大学院修士課程36人、委託生2人がそれぞれ修了。
総勢825人がDITを堂々と巣立っていきました!

情報学科 総代
堀木くん (02B)



卒業生 答辞 総代 島くん (02E)



卒業式表彰された卒業・修了生たちです
~どうぞ惜しめない拍手を!!~

1.学部生「学長賞」

学業で特に優秀な実績
を挙げました!

福田 好晃 02M
安田 久幸 02M
栗田 和昌 02J
吉岡 慧 02J
佐藤 雅彦 02E
細川 正志 02E
清水 文太 02A
中村 忠司 02A
加藤 大介 02C
田辺 良太 02C
小辻 陽平 02B
富田 真 02B

2.学部生「学長賞」

部活・社会活動で活躍し
ました!

久保宮 大 02B
奥野 拓 02C

3.学部生「三好賞」

研究室の活性化・課外活
動の発展に活躍しました!

宇賀神博行 02M
青木 康宏 02J
山田 護 02E
永田 将大 02A
小林 知子 02C
後藤 康男 02B

4.大学院生「学長賞」

修士論文が優秀でした!

石川 善裕 04MM
守屋 豊樹 04MM
吉田 尚嗣 04EM
後藤 大輔 04BM
山中 慎弥 04BM



That's 卒業パーティー!

学位記授与式終了後、教職員120人、学生604人の総勢724人が卒業パーティー
に参加し、観光ホテルの会場は、大・大フィーバー!!



学長のエールで更にフィーバー!!



平成17年度

卒業研究発表。

汗と涙の...

DIT研究活動の総決算、卒業研究発表会が各学科で行われました。

緊張しつつも一生懸命発表し、先生からの質問攻撃に必死で対応している学生の姿に、感動した!!

これがその青春の1ページだーっ!



宇宙ものづくりフォーラム

～学長と宇宙飛行士・向井さんの対談～



2006年3月16日(木)、全日空ホテルズ ホテルグランコート名古屋で「宇宙ものづくりフォーラム 名古屋講演会」が開催され、澤岡昭学長と向井千秋宇宙飛行士の対談が行われました。

学長と向井さんの関係は、1986年に向井さんがNASDA(宇宙開発事業団:現JAXA)の宇宙飛行士に選抜され、毛利さん、土井さんと共に、学長の英語で行う宇宙実験ゼミに参加された時から始まりました。

現在、向井さんはフランスの国際宇宙大学で客員教授をされており、久しぶりの再会を喜ばれていました。向井さんは1998年にバラの香りの宇宙実験をし、その成果は資生堂の香水にも活用されています。

対談では、始めに学長から向井さんに宇宙実験に使われたバラと同種のバラが贈られ、宇宙実験と化粧品の関わりや、今だから言えるスペースシャトル・コロンビア号事故後のNASAについてなど、興味深い話題が数多く取り上げられました。



中日新聞(2006.3.17)

「学長賞」

12月21日(水)、図書館小会議室で、学長賞表彰式を行いました。
 本学の名誉を高める活躍、**ありがとう!**



■青木 康宏くん(当時:02J 現在本学大学院生)
 第8回ROBO-ONE大会で
 「近藤科学賞」「バンプレスト賞」W受賞!



■近藤 弘憲くん(03J)
 世界からくりコンテスト(万博)で
 「最終審査進出」



「第3回キャンパスベンチャーグランプリ」



表彰式

〈受賞提案〉

「室内家電機器制御装置・リモコン花火」

家の中に家電製品が多くなるとリモコンの数も増え、使い分けがかえって不便になります。この状況を解決するために考案しました。装置の特徴は、部屋にある複数の家電製品の制御が一括で行えるうえ、音声認識で誰でも簡単に操作できる点です。

この装置が普及すれば家電メーカーはリモコンを生産する必要がなくなるため、生産コストを低減させることも可能になります。



日刊工業新聞(2006.2.6)



■近藤 弘憲くん(03J)
 「中部経済連合会会長賞」受賞!!

学長に報告

「クラブ活動報告会」

1月13日(金)、B0410講義室で、33クラブ(150人)が平成17年度の活動結果等を報告する、「クラブ活動報告会」が開催されました。

また、同時に優秀な成績でDITを盛り上げた「ハンドボール部」「ロボット研究同好会」「パレーボール部」「陸上競技部」「漕艇部」の表彰式も行われました。



学生部長 服部先生

機械工学科 鈴木桂輔 研究室 (人間支援工学研究室)

鈴木助教授の専門は、「マン・マシン・インターフェース」。先生は、「どのようにしたら機械を人間にとって使いやすいものにできるか」をテーマに人間工学と制御工学を駆使して、様々な課題に取り組んでいる。昨年から今年にかけては、模擬運転を体験できるドライビングシミュレータを用いて、交通事故防止につながるシステムや、負担の少ない新型の車椅子の開発・評価を、企業と共同で手がけている。先生の口ぐせは、「“人間と機械の橋わたし”が私の仕事、皆が生活していく上で問題となる課題に対して答えを導き出していきたい」というもの。今回は、先生が重点的に取り組んでいるホットなテーマを紹介しよう。



① 香りを使用した事故予防装置

昨年度、愛知県の交通事故発生件数は、全国でワースト1。先生は、これまでのような、エアバックや強化ボディなど、事故が発生した際、被害を軽減させる装置のみでは、交通事故による死傷者数を減らすためには不十分で、事故そのものを発生させない技術開発が重要と語る。そして、昨年から企業と共同で研究に着手しているのが、「香り(森林浴の香り)を用いた予防安全装置」の開発。森の中を歩いている時の爽快感がドライバーの疲労回復につながるのでは?という発想から、ドライバーの疲労状態を感知すると、エアコンから森林浴の香りを供給する装置の評価を開始した。その結果は、……思った以上の疲労回復が確認されたとのこと。この成果は、今年二月の日本機械学会での学会発表の後、新聞やラジオをはじめ、多くのマスコミに取り上げられている。

② テコの原理を使用した新型車椅子

先生が大同工大に着任した二年前にまず着手したのが、公共の施設でのバリアフリー化の状況調査。主に車椅子使用者の観点から、スロープの角度が適切か?などの調査を始めた。その結果、ハートビル法(ハートフルで心温まる気遣いの行き届いた建築物という意味)を順守して建築されている建物が意外に少ないことが分かった。先生は、建築物の改修も大事だが、負担が少なく移動できる車椅子の開発も同時に重

要と思い、企業と共同で負担が少なく楽に移動できる車椅子の開発・評価に着手した。その際に重要視したのが、ユーザの声。電動の駆動装置などを使用して負担を極限まで減らした車椅子は、筋力が衰えるばかりで、ある程度の負荷を感じる程度の方が好まれるという。ここで紹介する新型車椅子は、テコの原理を利用し、ボートを漕ぐような姿勢で移動でき、負担は通常のタイプと比べて半分程度という。先生曰く「どこまでも走っていきたくなる車椅子ですよ」とのこと。



「力(自信)」を引き出す提案体験型授業 ～現代GPの活動状況～

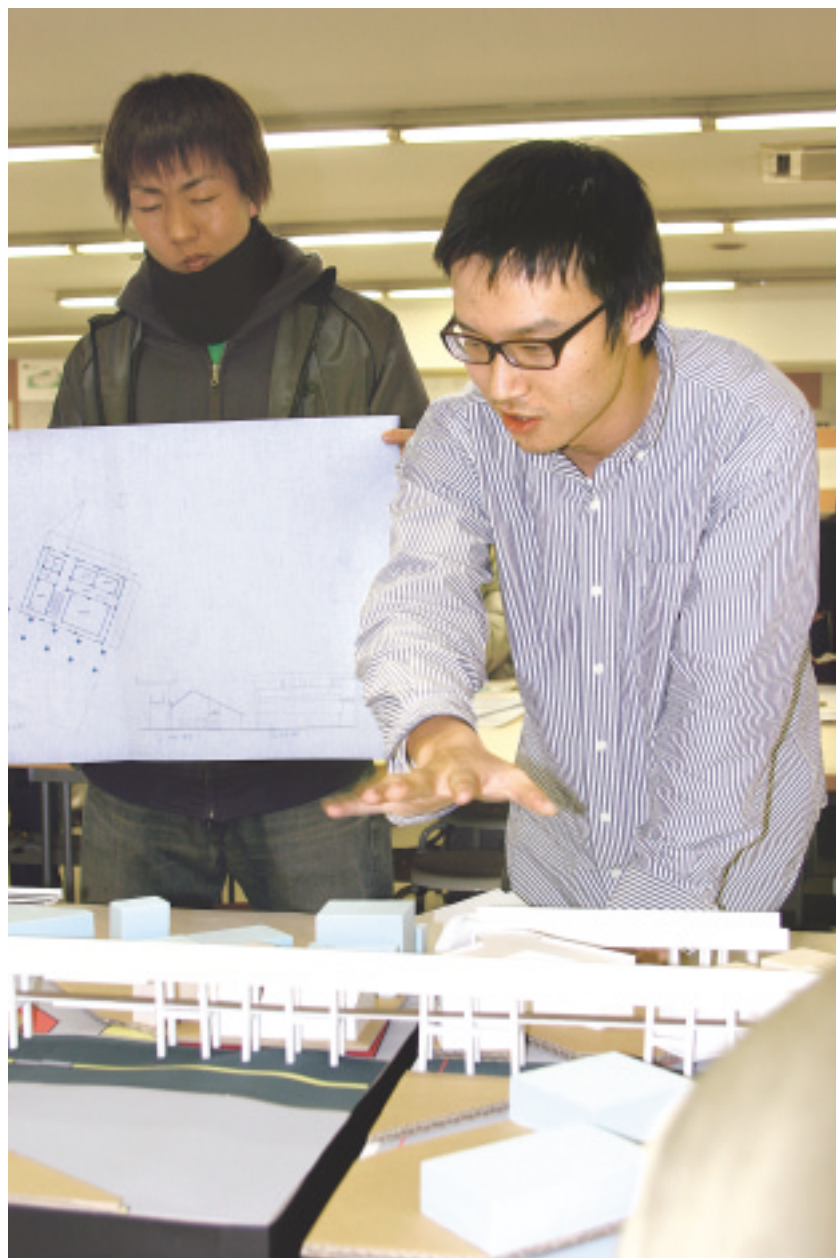
昨年度から新たに提案体験型授業として取り上げた課題は「新幹線沿線跡地利用計画」です。長い間利用されてこなかった中途半端でいびつな土地25箇所(南区内のみ)の利用方法を地域住民に対して学生がプレゼンテーションします。この取り組みは、デザイン力だけではなく、学内授業では得にくい幅広い視点に基づいた企画力が求められます。設定された条件に単に解答するだけではなく、学生が各自の視点で課題を見つけ、それに対する解決策を提案する力を養います。

これらの提案体験型授業はもともと、学習意欲の向上を目的にスタートしたものです。実際にプランを設計しプレゼンテーションを行う学生のモチベーションは期待以上で驚かされました。それは、課題の当事者に自分のアイデアを直接提案できることが、学生にとっては自分の存在意義を確かめられるきっかけになっているのでしょう。

この授業により、学生は社会を生き抜くうえで必要な「力(自信)」を身に付けることができるのです。

「新幹線沿線跡地利用計画」作品発表会

1月13日(金)、白水校舎・製図室で、課題の当事者である沿線上地域住民の方々を招き、発表会を行いました。



地域住民の方々に説明する伊藤くん(03A)

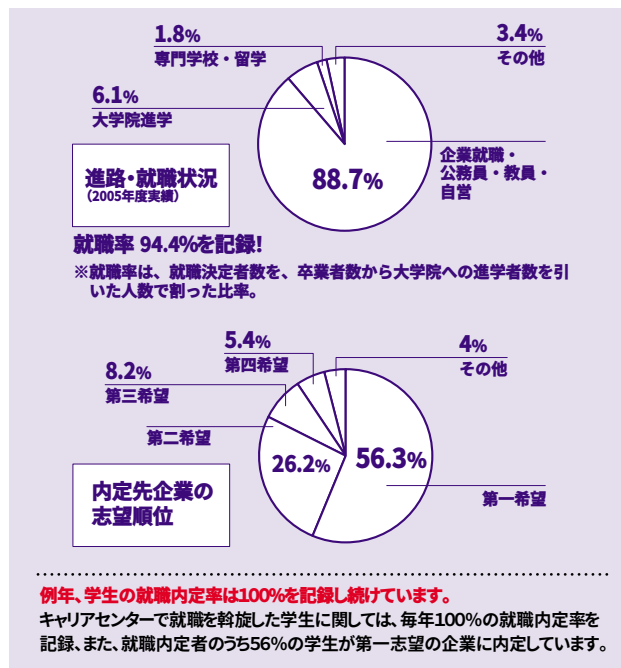


〈発表会に参加された方のご意見〉

- 自分達の地域について改めて考えるよいきっかけになりました。住民の意識を地域に向わせるという波及効果も得られるような気がしました。
- 私の学区は子供達の遊ぶ場所が少ないため、新幹線跡地を利用した様々な多目的広場の提案に期待しています。大学生との交流を通して、地域の子供達を育てたい。
- 地域住民に夢を与えてくれるよい機会でした。また現実性のある発表もあり参考になった。
- 地域課題を授業に取り組むことについては、学生が現実を頭におきながら、理想を追うということで、大変よいのではないのでしょうか。
- リアリティーのある課題ということで、学生の取り組む姿勢も違うように感じました。

「平成17年度 就職活動終了」 学部・大学院ともに就職を 希望する学生100%就職決定!

経済情勢を反映して、求人社数・求人数ともに大幅に増加した平成17年の就職戦線においても、企業の採用基準レベルは緩和されることなく、厳しい戦いを強いられました。また、情報学部1期生の就職という新しい分野の戦いもありましたが、学生自身の根気と粘り強さ、努力により就職を希望する学部生、大学院生全員が今年も無事就職しました。就職活動で培ったチカラはきっと働き出してから糧となり、やがて花となって実を結ぶことと信じています!



「平成18年度 就職活動状況」

頭のシューカツ→身体シューカツへ!!

就職活動の開始を告げる恒例の企業説明会が、今年も2月22日(水)の名古屋(愛知体育館)を皮切りに、岐阜・浜松・四日市・豊田の計5会場で350社の企業が参加して行なわれました。延べ780人の学生が事前に配付されている求人票を片手に参加企業のブースを訪問し、採用担当者からの企業説明に耳を傾け、時には熱心に質問をする学生の姿を見受けました。

全国的に東海地方の好景気・学生の売り手市場という言葉がメディアを賑わせるなか、少しでも早く内定を取り付けようとする学生の熱意と、採用予定人数を確保しなければならない企業の必死さが相交わり、会場は熱気に包まれました。

本学では今年も就職のミスマッチを防ぐべく、各学科の就職指導担当教員・卒業研究指導教員・キャリアセンターが結束し、学生の就職活動を積極的にバックアップしていきます。

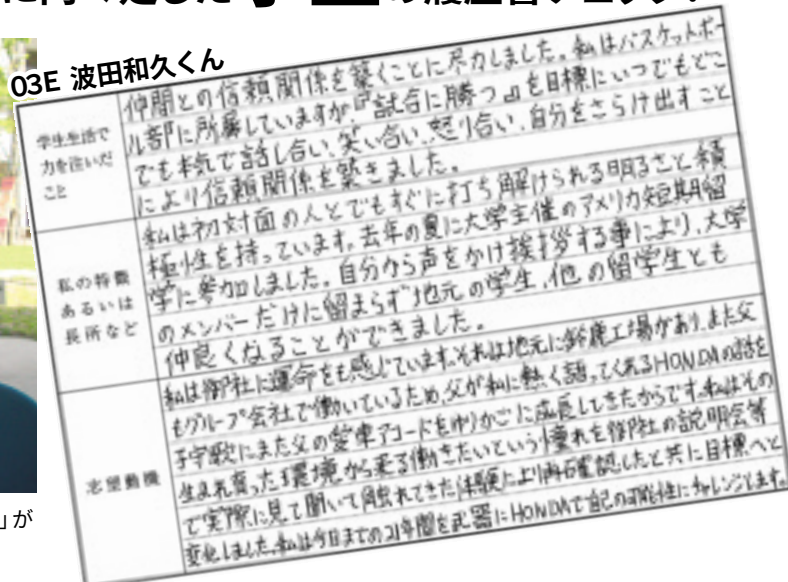


本田技研工業株式会社に内々定した**学生**の履歴書チェック!

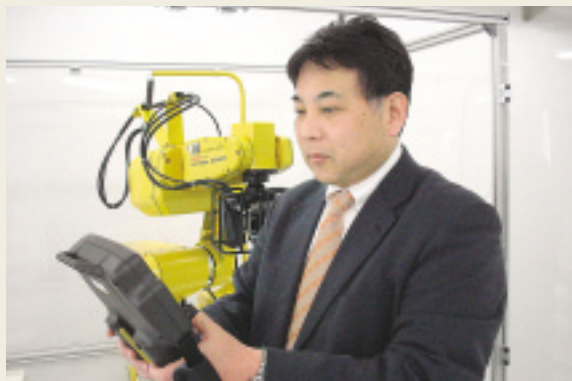


△(普通)ではなく、○か×を狙う、波田くんの「思い切りの良さ」がHONDAに評価されたのだ!

03E 波田和久くん



新任教員紹介



ロボティクス学科 溝口 正信 教授

「自分が開発した機械が工場で黙々と働いて、人びとの暮らしを豊かにしている」、これはエンジニアにとってこの上ない喜びです。私は三菱重工で24年間にわたり食品機械、工作機械などいくつもの製品開発を行い、この喜びを味わってきました。20年前に開発したゴムタイヤ機械は今でも毎日、何百というタイヤを生産し続けています。そしてこれからはこの経験を活かし、エンジニアを目指す大同工大の学生みなさんに、ものづくりの喜びと、社会貢献を通しての人生の充実感を伝えていきたいと思っています。

新設のロボティクス学科で、私はロボットのプログラミング、メカトロニクス実習などの授業を担当します。さらにロボットビジョン、ロボット制御システムの研究・開発を進めていきます。学生みなさんが実際にロボットに触れて、動かしてみ、確固たる技術を身につけてもらえるよう頑張ります。

作曲を本格的に芸術大学で学び、卒業後はテレビゲーム、テレビやラジオCMなどさまざまなジャンルの音楽を作ってきた。

「コンピュータのおかげでプロをやってくる事ができました。」というものの、ウーンフィル、N響、東京交響楽団、名フィルなど数多くのオーケストラや生楽器のアレンジを手がけている。「クラシックだけでなくポピュラーや民族音楽など色々な音楽を作曲してきました。」というとおり今年も東儀秀樹全国ツアーや冬ソナ歌手のRYUと名フィルなどのコンサートが多く予定されている。「プロの現場での空気を持ち込み、直接指導にもいかしていきたい。」と語る。

えっ？工業大学で音楽制作の勉強ができるの？ごく近い将来、工業大学から生まれたフレッシュな音楽が多く発信されようとしている。担当は基礎音楽論、音楽情報など。



情報学科 メディアデザイン専攻 小高 直樹 助教授

東京芸術大学大学院美術研究科建築専攻博士後期課程、宮元建築研究所代表取締役、龍谷大学助教授を経て、本年1月に就任。

京都及び横浜みなとみらい21地区を中心に福祉環境デザイナーとして活躍してきた。専門は医療施設や高齢者施設、バリアフリー住宅などの設計。また、車椅子やユニバーサルデザインを取り入れた工業デザインも手掛ける。デザイン賞を多数受賞。ランドスケープデザイナー、建築史家としても知られている。

現在は、高齢者対策の次に来るであろう少子化への住環境対策の研究に取り組んでいる。また、近年中に起きる可能性が高い東海沖地震などに備えて、被災地福祉プロジェクトを立ち上げた。地震で発電する「光転器」「被災地投下型仮設住宅」「エアバック型シェルター」「健常者用車椅子」などの特許の申請に追われている。テレビ出演多数。著書は40冊以上。4月に出版した『神社の系譜』はベストセラー。



建築学科 福祉環境学専攻 宮元 健次 教授

元気の卒業生 ⑪

NHK『地球だい好き』に本学卒業生が出演！

1月14日放送のNHK総合テレビ『地球だい好き～環境新時代～』で、工学部建設工学科土木工学専攻の卒業生 若月 学さん（昭和59年卒）の活動が取り上げられました。

番組では、「新潟発 伝統の技で川を守れ」というタイトルで「粗朶沈床（そだちんしょう）」と呼ばれる江戸時代の技法を紹介。「粗朶沈床」とは、木で作られた巨大な格子状の構造物を川に沈め、川岸や川底の浸食を防ぐ護岸工事の技術。50年ほど前までは、全国の河川で使われていた伝統的な技術で、環境保全の効果もあわせ持っています。コンクリートを使った工事が主流になった現在、若月さんはこの技術の復活に取り組んできました。そして、この技を次の世代に引き継ごうと若い人材の育成に力を入れています。

今、河川環境を守る若月さんの活動が、大きく注目されているといえるでしょう。



地域連携講座 「我が子をトップ アスリートへ」を開催しました。

昨年に続き、今年も佐藤壮一郎先生（保健体育教室／ハンドボール部顧問）によるスポーツ系の公開講座を開催しました。

南区役所との共催で、12月3日（土）・10日（土）の両日に、地域の皆さんに親子で参加して頂きました。本学・石井記念体育館で、普段体を動かす機会の少ないお父さん、お母さんも子供たちと一緒にバスケットボール、バドミントン、卓球を楽しんで、気持ちのいい汗を流していました。



本学学生とちびっ子



「イタリアデザイン・ラボ(IDL) 第2回勉強会」を開催しました。

1月26日（木）、本学A棟14階交流室で「イタリアデザイン・ラボ(IDL)第2回勉強会」を開催しました。

テーマは、「イタリアのデザインと企業戦略ーアレッシの事例研究ー」。講師は、本学客員教授 佐藤和子 氏で、企業経営者向けの「デザイン・マネジメント」について講義を行いました。

北イタリアのメーカー「アレッシ社(Alessi)」(六角形エスプレッソマシンで日本でもお馴染みの企業)を取り上げ、もとは金属加工の工場からスタートした企業が、デザイン戦略を通じて著しく成長を遂げたストーリーを紹介しました。

「第3回 南区魅力発見フェスティバル」 に3年連続で出展しました！

3月11日（土）、南区役所講堂で「南区魅力発見フェスティバル」が開催されました。本学からは今年も、笠嶋研究室、西堀研究室が出展協力しています。

「ものづくりのまち魅力発信コーナー」には、笠嶋研究室から「学生のまちづくり提案」として、新幹線建設に伴う空地化した土地利用のアイデアを建築模型とパネルで展示し、地域の方々の注目を集めていました。

また、西堀研究室ではお馴染みのサッカーロボットによる対戦に会場中から大きな拍手が湧いていました。また、サーカスロボットは小さな子供たちに大人気でした。



サッカーロボット

教員の新刊書出版

建築学科 福祉環境専攻 宮元健次 教授

「やおよろずの神」と言い表されるように、日本には多様な神が祀られている。元来、神社には神の家である本殿はなく、神奈備あるいは三諸と呼ばれる山や、神籬と呼ばれる木、磐座と呼ばれる石などで祭祀を行い、そこに神が宿ると信じられてきた。いかえれば、自然そのものに神が融合していた。

このような自然＝神といった概念は、どこからきたのだろうか。

本書は、神社の系譜を考える上で従来はあまり用いられなかった「自然暦」という視点を取り入れ、新たな切り口から神々の系譜について考える。

神社の系譜 なぜそこにあるのか

発行：光文社
発行日：2006年4月20日
定価：700円



「第5回におい研究交流会」を開催しました。

3月3日(金)に本学A棟14階交流室で、産学連携共同研究センター 臭気評価・制御研究ラボラトリー(代表者・建築学科 光田 恵助教授)主催・日本建築学会後援による恒例のにおい研究交流会が開催されました。本年度は区切りの5回目ということもあり、医療・福祉施設におけるにおいを対象とし、今までとは少し違ったやり方で、講演会やシンポジウムが企画されました。特に、シンポジウムでは、医療現場の声、高齢者福祉施設の声、介護現場の声など、日頃耳にすることがないようなにおいに関する苦労話も披露されました。50人程の多くの方々が熱心に聴講され、質問も多く飛び出し、例年になく非常に締まった交流会となりました。



発表者、大橋くん(01A)・高田さん(02A)

ハンドボール部顧問・佐藤壮一郎先生(テレビ出演)

3月18日(土)、駒沢体育館で開催された「日本ハンドボールリーグ・プレーオフ 大同特殊鋼 対 トヨタ紡織九州」でテレビ放送の解説者をハンドボール部顧問・佐藤先生が担当しました。

両チームをよく知っている先生の解説は、ユーモア溢れ且つわかりやすく、ハンドボールファンならずとも見入ってしまったのではないのでしょうか。

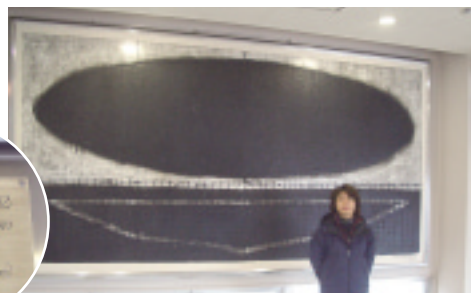


巨大版画がA棟2階に出現!

A棟2階の学生ホール壁面に巨大な版画が展示されています。縦1.8m、横3.6mと非常に大型なもので、その大きさに驚いた方も多いことでしょう。

作者は、三瓶光夫(さんぺいみつお)氏。国内でさまざまな受賞歴を持つほか、ポーランドの国際展示会にも出展され、今後の活躍が期待されている作家です。この作品は、「メジウムのはがし刷り」という版画では珍しい技法で制作されています。通常、版画は彫った凸面にインクを塗って刷るのですが、この技法はその逆。彫った凹面にインクを詰めて刷っているのです。そして彫るために使用した板は畳4枚分のベニヤ。スケールの大きな作品です!

作品のタイトルは、『玉響(たまゆら) 282』。玉響とは、玉がゆらぎ触れ合うようにかすかにという意味ですが、三瓶氏は、生命や植物をイメージした「まるいもの」を表現しているとのこと。しかし、見る人にはそれにとらわれず、いろいろなものをイメージしてほしいそうです。あらためてご覧いただくと、また違った見え方をするかもしれませんね。



作者の三瓶光夫 氏

Jessy Olson welcome party



学長とJessyさんと指導教員の佐藤先生(建築学科)



アメ短メンバーの波田くんと加藤くん

4月13日(木)、A棟14階交流室でUniversity of Oregonからの留学生Jessy Olsonさんを歓迎してwelcome partyを行いました。

教職員・学生合わせて、30人が交流を深める中、特に2005年アメリカ短期留学に参加した波田くん(03E)と加藤くん(04B)は積極的にJessyさんと話していました。

オレゴン大学校門前にある日本料理店「SAKURA」の話題で3人は大盛り上がり…。



「新学習支援センター(アップルケアセンター)」4月より新棟へ

～助かった一つ。先生、卒業できるよ!ありがとうございました。～

2月中旬、成績発表日になると「アップルケアセンター」を訪れていた学生らの張りのある声が飛び込んでくる。「良かったネ、頑張ったもんネ」支援教員の言葉に、感謝の気持ちを精一杯表そうとするが言葉にならない学生。「センターの先生のおかげです。」

学業不振で退学する学生が年々増え続けている。その理由の大半は「新学習指導要領」のもとの教育的弊害とも言える「基礎学力不足」です。またそんな学生を生み出している現況は、社会問題化している。本学ではその対策として、平成14年4月、基礎学力不足学生に対する学習支援を実験的に行う目的で「アップルケアセンター」を開設した。当初「数学」科目を1名の教員が担当、年間380余名の利用者があった。昨年度は、「数学」「英語」「物理」科目を9名の教員で担当、3,910名余(延べ数)の利用者に増加した。

「基礎に戻って数学、物理、化学の勉強をしたい」「文法から英語を勉強したい」そんな学生諸君、迷わず「アップルケアセンター」を利用しよう。



人事

退職/H18.3.31付

●大学

〈教育職員〉

- ①大下 一政/教養部 化学教室 教授
- ②瀬尾 文彰/工学部 建築学科 教授
- ③久保田 稔/工学部 都市環境デザイン学科 教授
- ④神本 勝巳/工学部 電気電子工学科 講師
- ⑤今井 英夫/教養部 数学教室 特任教員
- ⑥岩田 晃/情報学部 情報学科 特任教員

〈技術職員〉

- ①山下 昇一/創造製作センター 技師

〈嘱託職員〉

- ①鈴木 隆/工学部 機械工学科
- ②関谷 重喜/創造製作センター

採用/H18.4.1付

●大学

〈教育職員〉

- ①小林 正典/工学部 機械工学科 教授
- ②高山 努/教養部 化学教室助教授
- ③宇野 享/工学部 建築学科助教授
- ④鷺見 哲也/工学部 都市環境デザイン学科助教授
- ⑤橋口 宏衛/工学部 ロボティクス学科講師 併任
工学部 情報機械システム工学科講師
- ⑥大下 一政/教養部 化学教室特任教員
(任期: H18.4.1~H19.3.31)
- ⑦瀬尾 文彰/工学部 建築学科特任教員
(任期: H18.4.1~H19.3.31)

〈事務職員〉

- ①堀木 俊宏/大学事務部 エクステンションセンター
事務局 兼 広報室

〈嘱託職員〉

- ①高橋 利隆/創造製作センター
- ②渋谷 辰夫/工学部 機械工学科
- ③横井 健一/工学部 ロボティクス学科
- ④船橋 仁奈/工学部 建築学科

- ⑤西山 幸男/情報学部 情報学科

●法人本部・大学

〈特任職員〉

(任期: H18.4.1~H19.3.31)

- ①山田 茂/法人本部 経理部長
兼 経営企画本部 副本部長
- ②磯川 憲二/産学連携共同研究センター 副センター長
- ③児玉 和雄/教育・学生支援部 付主任部員

昇任/H18.4.1付

●大学

〈教育職員〉

- ①原科 浩/教養部 物理学教室 教授
- ②池田 洋一/工学部 機械工学科 教授 併任 工学部
情報機械システム工学科 教授

異動/H18.4.1付

●法人本部・大学

〈事務職員〉

- ①大脇 崇浩/法人本部 経理部 経理室
- ②小林 満暁/大学事務部 学務室
- ③後藤 輝巳/法人本部 総務部 人事室
- ④松井 健之/大学事務部 入試室
- ⑤高橋 昌弘/大学事務部 キャリアセンター 事務局
- ⑥伊藤 雅士/大学事務部 エクステンションセンター
事務局 兼 広報室
- ⑦森川 博光/教育・学生支援部 教務室
- ⑧都築 基/教育・学生支援部 学生室

〈嘱託職員〉

- ①平林佳代子/法人本部 総務部 庶務室
- ②伊藤 恵子/教育・学生支援部 学生室
- ③平野 益子/高校事務部 事務局

委嘱/H18.4.1付

●大学

〈役職者〉

(任期: H18.4.1~H19.3.31)

- ①曾我 静男/学長補佐を委嘱する

- ②水澤 富作/学長補佐を委嘱する

- ③川竹 敬三/学長付を委嘱する

- ④今井 建一/学長付を委嘱する

(任期: H18.4.1~H19.3.30)

- ①酒井 陽一/授業開発センター 長を委嘱する
- ②梅田 礼子/授業開発センター 副センター長を委嘱する
- ③高藤新三郎/工学部 機械工学科 科長 兼 工学部 機械工学科
機械工学専攻 専攻主任を委嘱する

- ④松浦 章裕/工学部 機械工学科 先端機械工学専攻
専攻主任を委嘱する

- ⑤西堀 賢司/工学部 ロボティクス学科 科長を委嘱する

- ⑥國立 勉/情報学部 情報科学科 科長 兼 情報学部
情報科学科 コンピュータサイエンス専攻 専攻主任 兼 情報学部 情報科学科 情報ネット
ワーク専攻 専攻主任を委嘱する

- ⑦山内 五郎/情報学部 情報科学科 メディアデザイン専攻
専攻主任を委嘱する

- ⑧稲垣 卓造/大学院 工学研究科 修士課程 建築学専攻
専攻長を委嘱する

- ⑨舟渡 悦夫/大学院 工学研究科 修士課程 都市環境
デザイン学専攻 専攻長を委嘱する

〈客員教授〉

(任期: H18.4.1~H19.3.31)

- ①市野 博重 ②太田 幸一 ③佐藤 和子
- ④藤原 俊隆 ⑤森 健 ⑥渡辺 裕夫

〈大学院客員教授〉

(任期: H18.4.1~H19.3.31) (継続)

- ①飯田 康夫 ②五十川幸宏 ③入山 恭彦
- ④岡部 道生 ⑤高橋 誠治 ⑥務川 進

〈客員研究員〉

(任期: H18.4.1~H19.3.31)

- ①中山 浩

編集後記

■4月3日(月)の入学式を皮切りに、大同工業大学の平成18年度がスタートしました。見慣れた825人の学生がキャンパスを巣立っていった寂しさと、またフレッシュな新入生796人が仲間になる喜びとが入り混じる、1年間で一番にぎやかなシーズンです。

■特に今年度は、機械工学科・先端機械工学専攻、ロボティクス学科、建築学科・福祉環境専攻の開設計念行事によって学生・教職員は勿論、地域住民・マスコミまでも巻き込んでDITは大盛り上がり。このようなDITの元気で熱い情報を「大同工大キャンパス」で皆さんに発信いたします。

■本誌は「大同の和」となることを目指します!そのためには皆さんのご協力が必要です。どんどん情報や企画等、エクステンションセンターまでお寄せください。お待ちしております。

■なお、今回は本学「アルバム委員会」14人の学生が今まで以上にチカラを貸してくれました。ありがとうございます!この「大同工大キャンパス」でDITを盛り上げていこうぜ!これからもよろしくな。

大同工大キャンパス 編集長 伊藤雅士(エクステンションセンター事務局 兼 広報室)



アルバム委員会(DIT特派員)のみんな